

V2G実証事業の概要

<実証内容>

- ・実証試験用のオンラインシステムの導入

2018年度に導入した実証試験用システムと、技術実証の中で整理した技術要件をもとに、実証サイトに駐車中のEV/PHEVを同時にV2G制御するオンラインシステムを構築する予定です。

- ・リソースの拡充

2018年度の実証事業から42台のEVPS^{*1}を追加導入（表1）し、国内最大規模のV2G実証環境を構築する予定（図1）です。

表1 2019年度のV2G実証事業におけるリソース内訳

実証サイト	EV/PHEV 台数	車両用途	EVPS 台数
静岡ガス（株） 東部支社	2台（EV：1台、PHEV：1台）	通勤用:2台	2台
静岡ガス（株） 吉原基地	5台（EV：4台、PHEV：1台）	通勤用:5台	5台
三菱自動車工業 （株）岡崎製作所	50台（PHEV：+40台）	通勤用:50台	50台 （+40台）
横浜市旭土木 事務所	1台（EV：+1台）	業務用:1台	+1台
協働事業者 敷地内	1台（PHEV：+1台）	業務用:1台	+1台
合計	59台（EV：6台、PHEV：53台）	通勤用:57台 業務用:2台	59台

※「+」の台数は2019年度新規分

<検討内容>

- ・技術実証の検討

2018年度に引き続き、電力系統安定化に向けた検証（図2）を実施し、実証サ

イトのリソースを同時に制御する場合の課題などについて検討を実施します。

・ビジネスモデルの検討

EV/PHEVのモビリティニーズ^{※2}を踏まえたV2Gの実現方法について検討するとともに、EV/PHEVおよびEVPS導入者から見たV2Gの活用メリットについて検討を実施する予定です。

※1 EVパワーステーションの略。充放電スタンドのこと。

※2 自動車としての本来の用途。

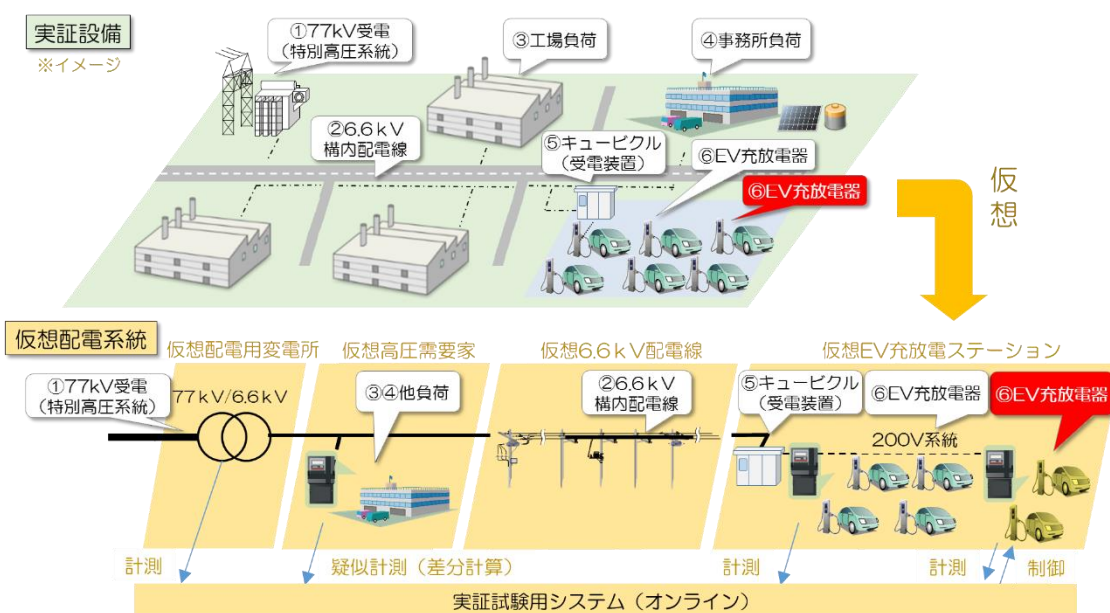


図1 実証サイトの一例

配電混雑緩和/電圧上昇回避

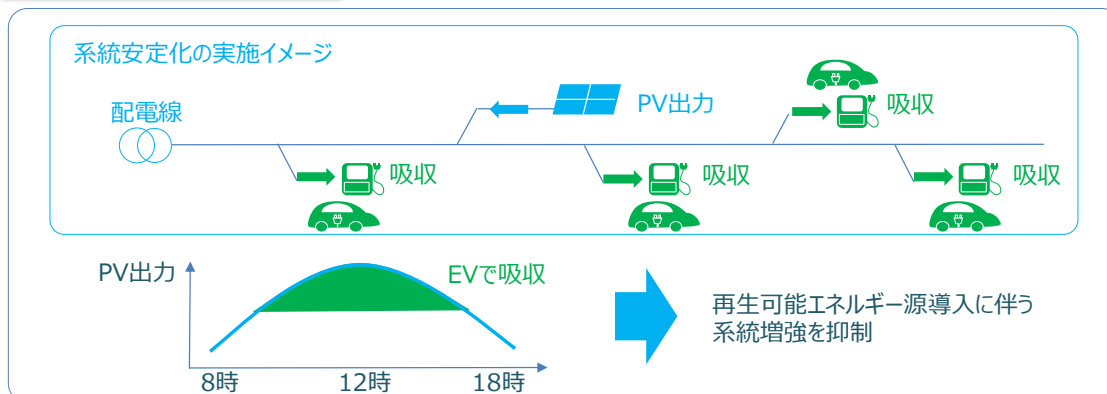


図2 技術検証項目の一例